



自律型致死兵器システムに関する政府専門家グループ会合(2018年3月、ジュネーブ国連欧州本部)

オンライン・シンポジウム 先端技術兵器の規制を考える —安全保障と人権・人道の観点から—

科学技術の発展は、人々の生活を変え、社会を変えてきました。それは軍事の分野にも当てはまります。新たな技術は、兵器の能力の飛躍的な向上を可能にし、国家の安全保障にも多大な影響を与えてきました。一方で、軍民両用（デュアル・ユース）技術の重要性も指摘されており、軍事技術への規制は民生技術の活用にも影響を与えることが懸念されています。先端技術のもたらしうる影響を完全に予測することが困難な状況で、わたしたちはどのように規制を展望することができるのでしょうか。この問題を考えるために、戸田記念国際平和研究所は、先端技術と安全保障の関係に多角的に光を当てるシンポジウムを開催します。第1回目となる今回は、国際的に関心を集める自律型致死兵器システム（LAWS）の問題を取り上げます。YouTubeよりライブ配信いたします。

プログラム（敬称略）



基調報告

高見澤将林

東京大学公共政策大学院客員教授/
前軍縮会議日本政府代表部大使



討論者

土井香苗

国際人権NGO
ヒューマン・ライツ・ウォッチ日本代表



討論者

河合公明

戸田記念国際平和研究所主任研究員/
PSET幹事会幹事



コメント

稲垣知宏

広島大学教授/PSET代表/
日本パグウォッシュ会議代表

パネル討論

高見澤将林、土井香苗

河合公明、鈴木達治郎（モデレーター）

質疑応答



司会進行

鈴木達治郎

長崎大学教授/PSET幹事会代表/
日本パグウォッシュ会議会長代行

詳細

12月19日 | 土 | 14:00 - 16:30

YouTubeよりライブ配信いたします。
下記QRコード、もしくはURLよりアクセスください。



参加無料

URL: bit.ly/35Q25HT

・主催：
戸田記念国際平和研究所

・共催：
安全保障と先端技術プラットフォーム（PSET）

・協力：
日本パグウォッシュ会議
国際人権NGOヒューマン・ライツ・ウォッチ

お問い合わせ：戸田記念国際平和研究所（www.toda.org）
河合公明 Email: kawai@toda.org